

2022年10月31日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ  
Fortinet 製品ユーザサポート

## **【脆弱性】 Apache の脆弱性(CVE-2022-42889 および CVE-2022-33980)の Fortinet 製品への影響について**

拝啓、平素は Fortinet 製品サポートをご利用下さいまして誠にありがとうございます。

先日、Apache について深刻度の高い脆弱性情報が 2 件(CVE-2022-42889 および CVE-2022-33980)、公開されています。当該脆弱性に関する Fortinet 製品への影響を下記にご案内します。

敬具

記

### 1. CVE-2022-42889 および CVE-2022-33980 の Fortinet 製品への影響

当サポートサイトで取り扱っている以下製品は、CVE-2022-42889 および CVE-2022-33980 の影響を受けません。

- FortiOS (FortiGate および FortiWiFi)
- FortiAnalyzer
- FortiManager
- FortiAP/ FortiAP-W2
- FortiSwitch

詳細、最新の情報については Fortinet 社から発表されています以下セキュリティアドバイザリ (PSIRT Advisories) をご覧ください。

Apache commons\_text(CVE-2022-42889) and commons\_configuration (CVE-2022-33980) vulnerability  
<<https://fortiguard.fortinet.com/psirt/FG-IR-22-399>>

### 2. IPS シグネチャでの対応状況

本脆弱性に対応した IPS シグネチャ(Apache.Commons.Text.Interpolation.Remote.Code.Execution)が IPS パッケージ version 22.418 以降で、リリースされています。

なお、シグネチャによる誤検知防止の観点から、2022年10月31日現在の最新のリリース(version 22.423)では、当該シグネチャの検知時の既定のアクションは通信を許可する設定となっています。通信を制限するには、検知時のアクションを Block にするなどの設定が必要です。

### 3. Fortinet 社セキュリティアドバイザー

Fortinet 社では、脆弱性情報を以下、FortiGuard Labs PSIRT Advisories で公開しています。最新の脆弱性情報は以下サイトをご覧頂き、適時ご利用環境の対策をいただきますようお願いいたします。

尚、同サイト記載内容以上の情報は開示されていません。記載内容の解釈また内容等については、弊社サポートではお答えいたしかねます。予めご了承ください。

PSIRT Advisories は RSS 配信も行われていますので、合わせてご活用ください。

FortiGuard Labs PSIRT Advisories

<<https://www.fortiguard.com/psirt>>

FortiGuard Labs RSS Feeds

<<https://www.fortiguard.com/rss-feeds>>

以上